

浜坂病院 土江参事退任(非常勤特別職へ)!

浜坂病院の医師・看護師確保により医療体制の維持にご尽力いただいた土江参事が4月より、非常勤での勤務になりました。3月議会では、「**地域の病院を守れるのは、まちのお一人お一人だ**」と思います。」と退任の挨拶をされました。永く地域医療の現場を見てこられての実感だと思いました。

どうなる? 巨大風力発電プロジェクト



新たな情報はありますが、地域の阻止の願いが叶えられるよう努めたいと思います。

仲村議会事務局長退任

平成29年11月に新米議員になってから、大変お世話になった仲村事務局長が3月末で退任されました。

議会事務局は町の職員でありながら、時には町当局と対立することもある議会を支えるという役職でもあり、大変だったと思います。

3月議会での退任の挨拶では、まちづくりにおいて「**あきらめないことの大切さ**」を学んだこと、超高齢社会の中、わが町が持続可能で住み続けられる町になるためには身の丈に合った『**上手に縮む**』まちづくりに取り組むことが重要だと思いながら職務に当たってきたことを紹介され、「住民にとって**議会最後の砦だ**」という思いから、住民の福祉向上を目指し、希望を持って『**上手に縮む**』まちづくりを!」とエールを貰いました。



追悼(小さな気付き)

3月議会中に温泉中学校時代の恩師がお亡くなりになりました。野球部の顧問であり、保健体育の先生でした。

その頃、私は冗談的やり取りの中で、相手(友だち)の発言を否定するとき、「やめいや〜」というのが口癖になっていました。普段から何の悪気もなく、親や親しい先輩に対しても使っていたように思います。いきさつは忘れてしまいましたが、先生に対して何気なく、その「やめいや〜」を発し、叱られたことを覚えています。

そのとき、自分自身では何の悪気もなく使っていても、大変失礼な言葉であることに気付かされました。今でも、小いさかった頃の勘違い(誤解)に気付かされることがあります。

改めまして、先生のご冥福をお祈りいたします。



4月17日家族で散歩中、半世紀ぶりにツマキチョウに出会い、思わず追いかけてしまいました。左はネット画像のオス、右は実写したメスです。「春の妖精」とも言われているようですが、春の1箇月間程度しか見られません。つま(先端)が黄色いのはオスだけです。飛んでいる時はモンシロチョウとの見分けが困難な愛らしい蝶です。

むだばなし(感謝)

中学生の頃、思い切って発言できなかったことを悔やんだ「むだばなし」を読んでくれた同級生が、「思い切って訪ねた」といって、ある会報誌を届けてくれました。小さな発信が受け止めてもらえたことをとても嬉しく思いました。

浜坂高校時代に私の打合せミスだったのか、文化祭でのクラスの催し会場(教室)を移動しなければならなくなった時、覚悟を決めて一人で机や道具を移動させ始めたところ、いつの間にか多くの仲間(クラスメイト)が手伝ってくれて、あっという間に片付いたことを思い出しました。その時は、仲間が率先して手伝ってくれたことの驚きと同時に仲間の有難さを実感しました。

届けてもらった会報誌の中で「弁を尽くす」という箇所が印象に残りました。物事を人に伝えるためには「だれにもわかるように」ですが、何より「相手の顔が自然とほころぶような柔和な態度で、思いやりをもって言葉を交わすことだ」と書かれていました。

私には、とても難しく感じられますが、同級生からのメッセージとして受け止めたいと思いました。心から、感謝します。

この町政報告は年4回発行してきましたが、毎回の全戸的配布はできていないため、新号配布又はバックナンバーを希望していただける方は、ご住所とお名前をお知らせください。また、皆さまからのご意見が議員活動の源になります。ご忌憚のないご意見をお寄せください。心よりお待ちしております。

町政報告 2022年春 第18号

とち 柵の実 通信

(ただっちゃん つうしん)



新温泉町議会議員

かわごえ

河越ただし

住民の幸せ追求が町政のつとめ

発行: 河越 忠志

〒669-6801 新温泉町井土 978-1 TEL0796-92-2428(事) 92-2550(自宅)

E-mail: take2428co@coffee.ocn.ne.jp https://www.facebook.com/tadashi.kawagoe.1



平和だった頃のキーウ

ロシアによるウクライナ侵攻への非難決議 採択

ロシアがウクライナへの侵攻を開始して5日目になる3月1日(火)、非常に重苦しい気分の中で、第114回新温泉町議会定例会の開会を迎えました。

この度のロシアによる暴挙は、第二次世界大戦以降、類を見ない一方的かつ大胆な国家犯罪事件です。

しかし、現実的には国際社会として、ウクライナへの多分野にわたる支援とロシアへの経済的・外交的制裁以外の手段を有していません。更に、実際には中国を始め、ロシアとの良好な関係性を断つことのできない国家が多く存在することも現実です。

日本にとって、ロシアは隣国であり、北方領土問題などに関して平和条約締結を介して、解決を図ろうと試みてきましたが、ロシアの現政権が維持され、或いは同様の国家体制が継承される限りは、平和的対応が困難になったものと思います。

地域間の紛争があっても、全世界的には一定の平和が保たれていると感じてきたことが、単なる錯覚であったと思うようになりました。国連の常任理事国に拒否権という絶対権限が与えられていることを懸念していましたが、実際に国連が無力であることを今回の事件で改めて、痛感させられました。我が国として、どう平和的に国民を守れるかが、更に難題に思えてきました。

認定こども園整備、重要事項要再検討(次項)

(非難決議全文)

2月24日、ロシアはウクライナへの軍事侵攻を行った。

これは、ウクライナの主権と領土を侵害し、武力の行使を禁ずる国際憲章の重大な違反であり、国際秩序の根幹を揺るがすもので断じて容認できない。

新温泉町は、「恒久平和の町」宣言を行い、核兵器の廃絶と戦争を許さない決議を表明しており、平和と幸せな生活を求めている。

新温泉町議会は、ロシアによる攻撃やウクライナの主権侵害を非難するとともに、国際間の法秩序と対話による世界平和の実現を希求し、ロシア軍の無条件かつ即時の撤退を強く求める。

また、政府においては、国際社会とも連携し、あらゆる外交努力によって、ロシアのウクライナからの無条件即時撤退と現状回復に全力を尽くすとともに、我が国への影響対策について万全を尽くすことを要請する。

兵庫県美方郡新温泉町議会

混迷を深める浜坂認定こども園整備



整備関連予算減額修正案提出

河越の立ち位置

私は、浜坂認定こども園整備に関して様々な経過を踏まえ、現在地周辺での整備を望んでいます。しかし、当局が示す計画には、次の点で不備があるものと判断し、この減額修正を発議しました。私は、**現在地活用推進派**です。そうだからこそ、この役割を務める責任があると考えました。

理由① 周辺より先に避難が必要なこと

現在地北側拡張計画案は、周辺の冠水により孤立することを解消できておらず、隣接地域より先の避難が求められ、保育を継続することができない計画であること。

つまり、**職員さんの不安と負担は軽減されません。**

理由② 費用対効果が検討されていない

敷地拡張範囲の4mの嵩上げだけを想定しても、搬出土約2千m³、搬入土約1万4千m³、擁壁高4.5m以上延長も300mを超える計画となる。軟弱地層であることと併せて、費用対効果が低いものと考えられること。

更に総予算が不明瞭なまま用地を取得するということは、**総費用に関わらず根本的見直しができなくなります。**

理由③ 大庭地域を無視した計画である

統合を想定しないと説明しながら、現在の床面積1040m²程度に対し、1900m²の計画は、その説明と食い違っており、大庭地域の**統合を望んでおられない方々をあざむく手法**だと思えること。追加するならば、耐震補強設計が完了しているにも関わらず、浜坂認定こども園より、4年古い大庭認定こども園整備を放置していること。

令和4年3月26日付日本海新聞但馬版「浜坂こども園予算5度目の否決」の記事に関しての新日本海新聞社但馬支社に対する質問状の提出に加わりました。同支社長から「根拠に欠けた不適切な表現があった」との詫びの内容を含む回答書を受け取りました。住民にとって＜議会は最後の砦＞です（後掲）。

一般質問の狙い

保育の継続・維持

認定こども園には大雨洪水警報発令時等非常時においても安全確保を前提として『保育』の継続・維持機能が必要であることを主張しました。

これは、保護者の多様な形態での就労などを支援することに繋がります。

警報がでても簡単には休園しない施設が必要だと主張しました。

岩美町には、認定こども園はなく、3つの保育所があり、警報がでても単に休園にはならず、担当課職員さんの記憶の限り、休園したことはないそうです。

統合しないために

大庭認定こども園を存続させるのであれば、浜坂認定こども園は必要最低限の適正規模にとどめる必要があります。（私は大庭認定こども園存続容認派です。）その上で、0歳児保育、病児・病後児保育、24時間保育等様々な特殊需要に応える環境整備を早急に整えるべきだと主張しました。

大庭認定こども園を耐震改修で早くリニューアルすべきだ。統合の必要が生じれば、いくらでも有効活用ができ、無駄にはならないと主張しました。

孤立形は愚の骨頂

防災の専門家から、洪水で孤立する形での**改築は「愚の骨頂」**だとの助言を受けました。

防災行政告知と温泉地域のケーブルテレビ設備更新について（一般質問）

		豊岡市・養父市 香美町・岩美町	朝来市		新温泉町	
					浜坂地域	温泉地域
防災告知 放送	放送システム	共通システム	共通システム		共通システム	
	屋外告知放送	無線	屋外告知増し		無線	無線
	戸別受信機	無線（無償貸与）	有線	無し	有線・無	有線
		停電時対応	（ケーブルTV）	未加入	（防災告知）	（ケーブルTV）

現在、温泉地域のケーブルテレビの設備機器の老朽化に対応するための検討が進められています。

そこで、温泉地域では防災戸別告知機能を担ってきたケーブルテレビと町全体での防災告知に関する課題を明らかにすることを目的に、但馬の全市町、そしてお隣の岩美町さんの現状を調査し、一般質問により課題の改善を求めました。

新温泉町の防災告知における課題は、戸別受信が全町で有線のシステムになっていることです。

また、浜坂地域の一部には、その戸別受信設備さえ配置されていない現状があります。温泉地域においては、ケーブルテレビ未加入事業所などでは、戸別受信できません。

何より、**有線のシステムでは、停電や断線などの事象に対応できません。**つまり、肝心の災害時に機能しない可能性があります。防災上の大きな障害になります。

近隣の市町の住宅には、朝来市を除き、すべての市町で無線の戸別受信機が無料で貸与されています。

温泉地域のケーブルテレビについては、浜坂地域への延伸に関して、大きな議論があったところです。

しかし、自主放送の視聴に関する自治体内での格差を放置することは、好ましいことではなく、この度の機能更新が、格差是正或いは将来のそれに向けた準備のための良い機会になるものと考え、この点についても一般質問で取り上げました。

【副町長】更新システムは、プロポーザル方式で選定するため、提案者の力を借りて、浜坂地域での視聴を含めた有効なシステムが構築できるかについて、今後検討したいと思っている。

浜坂地域の認定こども園整備に関する「町当局への提言」

認定こども園の統合整備を議論すれば、早期整備は困難になると思います。

① 既存浜坂子育て支援センターの耐震・0歳児を含む臨時保育所対応改修（多用途想定、千年に1度の降雨にも対応が可能）。

②-1 浜坂認定こども園の耐震改修と床高を上げた0歳児保育室などの最低限の増築並びに洪水時の孤立を回避する高架連絡通路棟の増築（転用も可能）。

②-2 大庭認定こども園の0歳児保育対応を含む耐震改修（転用も可能）。

同時に**歳出を抑えた将来の選択肢確保、小学校等の再編議論の推進及び居住・子育て支援の充実に絶対が必要です。**



浜坂認定こども園整備提案イメージ

